

## 第 2 章

### 大阪・関西万博での取組



# I 三重県ブース・催事概要

## 1 出展に向けたあゆみ

日 程	内 容
令和3(2021)年 9月	万博会場における共同パビリオンへの出展決定
令和4(2022)年 1月	第1回大阪・関西万博関西パビリオン企画委員会（一見知事出席）
同 2月	関西パビリオンへの参加を表明
同 6月	令和4年度第1回大阪・関西万博関連事業推進本部会議
同 11月	令和4年度第2回大阪・関西万博関連事業推進本部会議
令和5(2023)年 3月	自治体参加催事の開催を決定
同 3月	大阪・関西万博三重県ブース（仮称）出展基本計画を策定
同 3月	令和4年度第3回大阪・関西万博関連事業推進本部会議
同 10月	関西パビリオン起工式（廣田副知事出席）
令和6(2024)年 3月	「大阪・関西万博三重県ブース（仮）展示設計計画」「大阪・関西万博三重県ブース（仮）運営基本計画」を策定
同 3月	令和5年度大阪・関西万博関連事業推進会議
同 4月	大阪・関西万博推進プロジェクトチーム発足
同 5月	関西パビリオン視察会（一見知事出席）
同 10月	関西パビリオン内覧会（松下雇用経済部長出席）
令和7(2025)年 2月	自治体参加催事 祭事等選定委員会実施
同 3月	関西パビリオン完成記念お披露目会（野呂副知事、小林三重県議会副議長、石垣三重県議会政策企画雇用経済観光常任委員長出席）
同 4月	大阪・関西万博テストラン実施
同 4月	大阪・関西万博メディアデー開催 関西パビリオン開館式、三重県ブース内覧会（服部副知事出席）
同 4月	2025年日本国際博覧会開会式（一見知事出席）



大阪・関西万博公式キャラクター  
ミャクミャク  
©Expo 2025



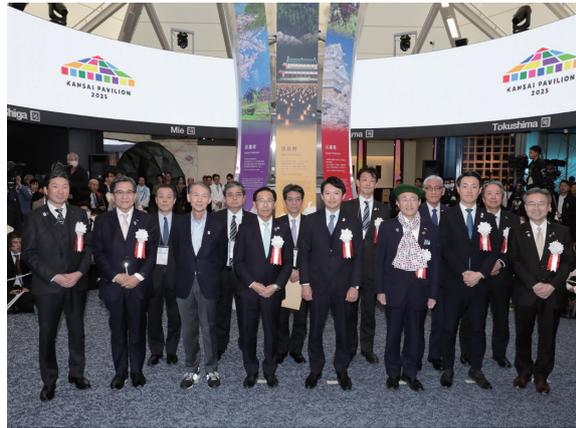
関西パビリオン起工式 (令和5年10月)



関西パビリオン視察会 (令和6年5月)



関西パビリオン内覧会 (令和6年10月)



関西パビリオン完成記念お披露目会 (令和7年3月)



メディアデー (令和7年4月)



関西パビリオン開館式 (令和7年4月)

## 2 関西パビリオン及び三重県ブース出展計画概要

関西広域連合が設置する関西パビリオンへ三重県ブースを出展

### (1) 関西パビリオン

出展参加  
主体

関西広域連合

出展参加  
府県

滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県

出展参加  
のテーマ

いのち輝く関西悠久の歴史と現在

建物の  
コンセプト

笑顔あふれる輝く未来へ、いつも楽しい、にぎわいのパビリオン

面 積

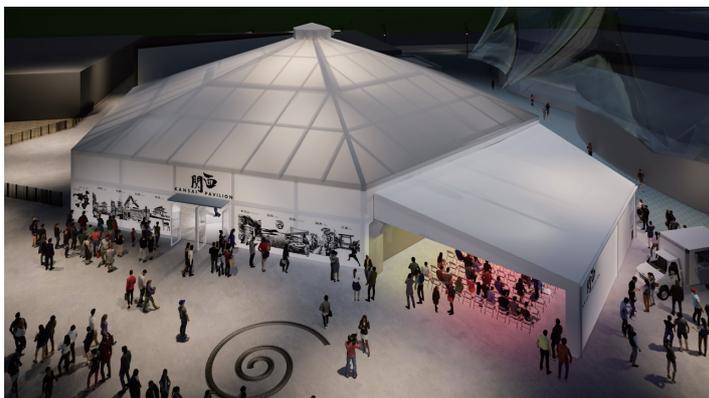
1,877㎡

開館時間

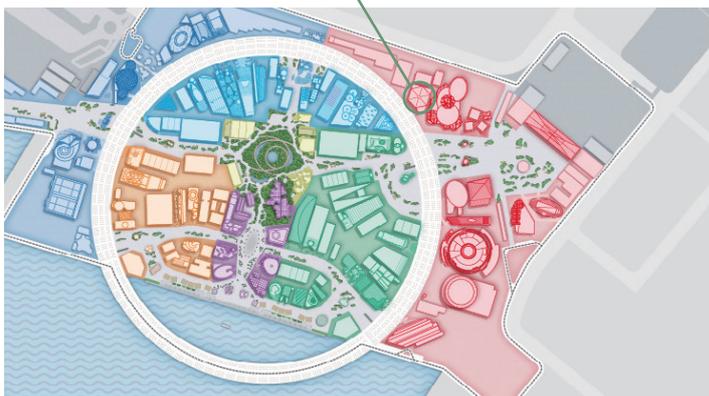
9時15分から21時

基本構成

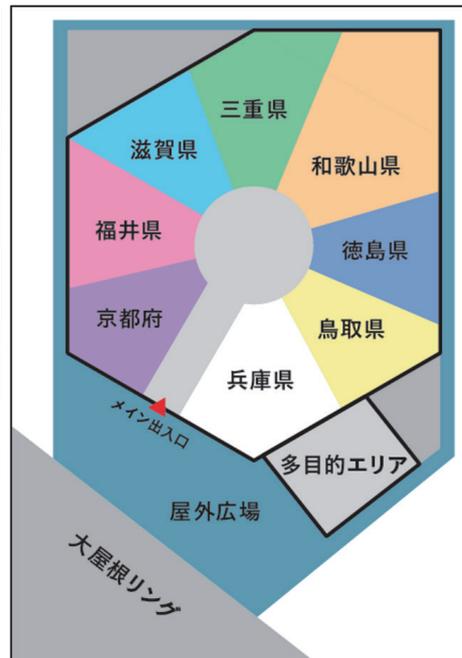
関西全体を表現する展示エリア  
出展参加府県による独自展示エリア  
関西・WEBパビリオン



関西広域連合提供



2025年日本国際博覧会協会提供地図を加工



パビリオン平面図

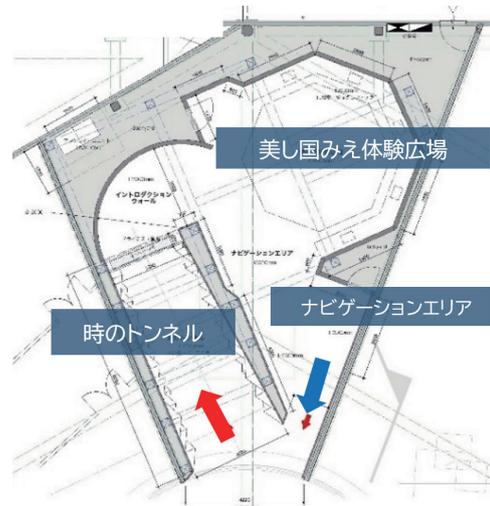
## (2) 三重県ブース

### ①概要

**テーマ** 日本のこころの原点<sup>うま</sup>～美し国みえへとつづく時を超えた物語～

三重県では、古くから、多様な人々が暮らし、美しい自然や歴史・文化を大切にしながら、知恵と工夫で常に新しいものを生み出し、発展してきた。

この「こころの原点」とも言える物語を、三重県の豊かな自然や食など「美し国みえ」の魅力とともに、エンタテインメント型の空間演出で来場者の皆様が体感・体験できるように設計



**ブースゾーニング** 全体面積：160㎡

三重県が世界に誇る魅力に「出会う」、多様な魅力を「知る」、三重へ「旅立つ」の3つのゾーンで構成

### 三重と出会う ～時のトンネル～

万博会場にいなながら「熊野古道伊勢路」などから広がる三重県の千年を超える歴史物語を体感できる幻想的なトンネルを展開

県内29市町の海や山といった美しい自然や観光地などの映像で来場者をブースに誘引



### イントロダクションウォール

時のトンネルを抜け、美し国みえ体験広場へと繋がるイントロダクションウォールが出現  
三重県の伝統工芸を想起させる文様を壁面のデザインベースとして、三重県が「美し国」と呼ばれてきた所以やブーステーマにもある「日本のこころの原点」を訴求

「美し国」の4つの魅力ワード

- ・豊かな自然……海・山・川
- ・食の宝庫……海の幸・山の幸・野の幸
- ・心のふるさと…伊勢・熊野・聖地
- ・文化の融合……街道・芸術・産業



### 三重を知る ～美し国みえ体験広場～

県内5エリアごとに映像を投影するほか、各エリアの魅力を体感できる展示を実施

また、特集テーマを設け、テーマに合わせた映像の投影や期間限定の特別展示を行うほか、市町も参加し、各地域の魅力を発信



### 三重へ旅立つ ～ナビゲーションエリア～

コンシェルジュを配置し、来場者一人ひとりの興味関心に応じた情報を提供するほか、来場者が興味のある観光情報をデジタルマップから閲覧し、二次元コードで取得



## ②特集テーマ期間「特別展示」市町デー

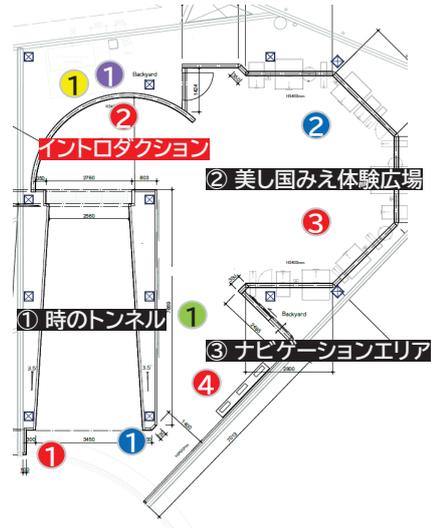
「美し国みえ体験広場」では、期間中、6つの特集テーマに関連した特別展示を期間限定で実施。また、特集テーマ期間にあわせて県内各市町が来場者へ地域ならではの体験コンテンツ（ワークショップ等）を提供し、オール三重で三重県の魅力を発信

日程	テーマ	特別展示	市町デー
5月7日～28日	熊野古道	イマージブ熊野古道 ～二大聖地を結ぶ 絶景の道を歩く～	紀北町、尾鷲市、熊野市
5月29日～6月25日	とこわか 常若	ないくうしょうでんかつおぎ 内宮正殿鯉木	伊勢市、明和町、志摩市、鳥羽市、南伊勢町、 度会町、玉城町
6月26日～7月23日	歴史・文化	宝刀「村正」	松阪市、津市、菟野町、桑名市、亀山市
7月24日～8月20日	自然	自由の鐘	名張市、大紀町、朝日町
8月21日～9月25日	産業	三重の伝統産業	いなべ市、伊賀市、四日市市、鈴鹿市
9月26日～10月13日	食	海女漁と三重の食	多気町、大台町

### ③運営スタッフ

三重県ブースでは、ブースの中で来場者の案内などを行うアテンダントをはじめ、運営スタッフを常時9ポジション配置し、安心・安全なブースを運営

要 員	要員数	役 割
県職員	1 P	ブース責任者
チーフディレクター	1 P	ブース運営統括管理
運営ディレクター	2 P	ブース内進行管理
アテンダント	4 P	展示紹介、来場者サポート
コンシェルジュ	1 P	ナビゲーションエリアでの観光ガイド対応



### ■アテンダントユニフォーム

三重県ブースの中で受付・案内などを行うアテンダントのユニフォームについて、インバウンドにも人気の高い「忍者」をコンセプトとしたデザインを採用

#### ユニフォームの特徴など

- ワンポイントとして左胸に「美し国みえ」ロゴマーク及びロゴタイプ、背面にもロゴタイプをデザイン
- 三重県ブースにおいて受付・案内を実施するアテンダントが会期中着用



基本



夏季



## ■ブースの様子



### 3 催事計画概要

万博会場内の2か所において三重県の魅力を発信する催事を実施

#### (1) 関西パビリオン多目的エリアイベント

**催事名** 美し国彩り三重バザール

**概要** 三重県ブースに隣接する関西パビリオン多目的エリアにおいて、県内各地の食文化体験や県産品販売、観光PR等と連携したイベントを実施

**期間** 令和7(2025)年6月30日(月)から7月6日(日)  
令和7(2025)年9月2日(火)から8日(月) ※8日(月)は温泉デー

**会場** 関西パビリオン多目的エリア



#### (2) 自治体参加催事

**催事名** ～三重のおまつり大集合！～ MIE フェスティバル in EXPO

**概要** 「祭り」をテーマに、県を代表する祭りの実演・展示を行うとともに、市町や関係団体、県内事業者がブースを出展して三重の魅力をPR

**期間** 令和7(2025)年9月22日(月) 10時から18時30分(18時最終入場)

**会場** EXPOアリーナ「Matsuri」

**出演祭事** くわな石取祭(桑名市)、大四日市まつり大入道(四日市市)、関の山車(亀山市)、津まつり(津市)、上野天神祭、勝手神社の神事踊(伊賀市)、お木曳(伊勢市)、安乗の人形芝居(志摩市)、きほく燈籠祭(紀北町)、尾鷲ヤーヤ祭り(尾鷲市)

